第1章

研究目的

第1章　研究目的

1－1　研究背景

近年、地球温暖化といった環境問題を緩和し持続可能な低炭素社会を実現するため、建物運用における省エネルギー推進が求められている。

文部科学省の調査によると日本には全国に781の大学があり（平成30年5月1日現在）、その数と大学在学者数は年々増加の一途をたどっているため、大規模施設である大学のエネルギー消費を削減することに対する効果は大きい。

省エネルギー化のためには、対象空間にける滞在状況と各設備の利用状況を把握し設備利用特性を明らかにして改善点を発見し、設備利用を最適化する必要性がある。

1－2　研究目的

本研究は日常的に利用されている大規模学生室を対象とし、対象空間における設備利用特性を明らかにすることを目的とする。

1－3　研究内容

　本研究は、東海大学湘南キャンパスの19号館4階にある大規模学生室にて行う。空調吹き出し温度、吸い込み温度、滞在状況、照明機器の点灯状況を継続的に測定する。滞在状況は人感センサー、照明機器の点灯状況は照度センサーを用いて測定をし、その測定データの分析を行う。